

My Sonic Signature Gold の導入(13)

—バッハを聴く(12)—

1. はじめに

前報(1)の試聴計画に基づき、「バッハを聴く」のシリーズで、今回は、フーガの技法を選びました。アナログ盤の他に CD がありますので 2 回に分けます。

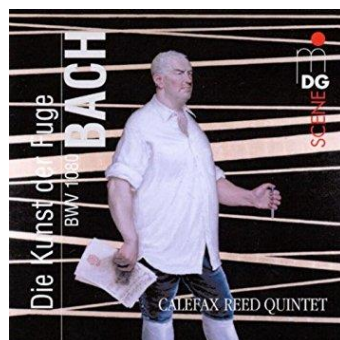
2. My Sonic Signature Gold の試聴方法

試聴方法は、My Sonic カートリッジの試聴(3)と同様です。

【CD】

ハイペリオン CDA67980 フーガの技法 アンジェラ・ヒューイット

GAMA MDG 619-0989-2 カレファックス・リード・クインテット



2. My Sonic Signature Gold の試聴結果

ヒューイット盤はピアノ編曲版で FAZIOLI が使用されています。この盤は[ディスコグラフィー【2017No.57】](#)で紹介済みです。FAZIOLI のウオームトーンの音色が聴きどころですが、ピアノ編曲ですので、そのつもりで聴いていくことが必要です。

カレファックス・リード・クインテット盤は演奏会に行って求めてきたもので、木管とリード楽器の 5 重奏曲への編曲です。この盤は[ディスコグラフィー【2015No.33】](#)で紹介済みです。オーボエ、アルトサックス、クラリネット、ファゴット、バスクラリネットという構成での演奏で、これも大幅な編曲ですので、勝手が違うという印象です。オリジナルの楽器が、どの管楽器にあてはめられているかを推察しながら聴いていくことになります。

3. まとめ

ヒューイト盤、カレファックス・リード・クインテット盤ともに編曲版ですので、前報(12)で報告したアナログ盤との違いを聴き比べていく楽しみがあります。

以上